

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災時、地域住民(町内会)・近隣の方の協力を得る事が出来る体制は整っているが、他にも地域の協力を得る事が出来ると更に安心へ繋げることが出来る。	万が一に備え、地域の消防団に協力して頂けるよう体制を整える。	地域の消防団の方々に、グループホームとはどういう所か知って頂く。 ①消防団員の集会時に屯所へ出向き、説明する。	12か月
2	19	家族と一緒に過ごす時間が少ない。 毎月お便りで様子を伝えているが、実際に会う事で本人の様子(変化)を知って頂く事が出来る。	一緒に過ごす時間を持ち、日常の様子を見て頂く事で今後の支援の方向を共に考える。	一緒に過ごす機会設ける。 ①ご家族様を、行事ではなく日常で食事(昼食または夕食)へ招待し、ご飯を食べながら一緒に過ごす ②ご家族様と一緒に外食。	12か月
3	20	去年は馴染みの場所へ出向き、また生家を訪ね昔を懐かしみ、思い出す場面を作る事が出来たが全ての入居者様ではなかった。	馴染みの場所へ行き、また馴染みの人と会う事で思い出す場面を作る。	一人一人が昔を懐かしむ事が出来る。 ①馴染みの場所へ行く。 ②馴染みの人と交流を図る。(会いに行く) ③慰問を通じて馴染みの人に会う。(慰問依頼)	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。